

令和5年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	子どもも大人も一緒に考える「食品ロス」		
事業主体 (連絡先)	ナカマノコエ		
総事業費	542,557円	(うち補助金:)	139,000円)

事業内容

長野県屈指の観光地である軽井沢町は、ごみの排出量が県内でもずば抜けて多い。本事業では「食品ロス削減」について SNS を中心に情報発信し、軽井沢町周辺地域の持続可能な暮らしや社会のあり方について考える機会を提供した。

- ・YouTube 番組制作『食品ロスをまなむ一歩』11本
- ・X での情報発信
- ・佐久平クリーンセンター施設見学会
→ 8/1 78名参加 10/30 3名参加
- ・学校への自主学習提案
- ・消費者に対し食品ロス意識調査の実施
→ グーグルフォームによるアンケート

事業効果

- ・町内でごみ問題に取り組む団体がいない中、「食品ロス削減」というテーマで活動を打ち出した意味は大きく、YouTube 番組作りを通して、行政・学校・事業者・消費者に対し地域の問題として提起することができた。
- ・Instagram フォロワー数… 63名→110名(47名増)
アカウント名: karuizawa_food_cycle
- ・X フォロワー数… 63名→317名(254名増)
アカウント名: ナカマノコエ
- ・YouTube チャンネル登録者数… 6名→62名(56名増)
アカウント名: ナカマノコエ

今後の取り組み

今年の活動の中で手ごたえがあった「生ごみ堆肥化」についてを軸に、引き続き食品ロスについて情報発信したり、体験の機会を提供したりする。生じてしまった食品ロス(生ごみ)を資源として土に返す堆肥化は、一般家庭でも気軽に行うことができる、循環型の暮らしを身近なものとして実感することができる体験である。今後も「食品ロス」に限らず地域社会がよりよくなるための情報発信を併せて行うことで、団体としての発信力を強めていく。

※ 自己評価は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。



<https://www.youtube.com/@nakamanokoe88>

【目標・ねらい】

- ①食品ロス削減に関心を持つ人を増やす。
- ②食品に限らず、「ロスを生まない」サステイナブルなしくみのあるまちづくりについて、関心を持つ人を増やす。

※自己評価【 B 】

【理由】

「食品ロス」という課題を軽井沢町で発信する新しい市民活動として行政や住民の中で認知されたことはフォロワー数に反映されている。SNS の効果的な活用には改善の余地があるが、次年度以降も見せ方をブラッシュアップし再利用するなど、有効活用可能な動画等の財産をつくることができた。活動の蓄積(知識・情報・人間関係など)によって今後の見通しが立ったことも大きい。